

# ドラム破碎投入設備 処理プロセス

STEP

1

## コンベヤで搬送

危険性の高い廃棄物などが入っているドラム缶は中身を事前に確認した上で、ローラーコンベヤの上に置き、エレベーターまで自動で運ばれます。



STEP

2

## エレベーターで投入

ドラム缶はエレベーターで約11m上昇し、投入口まで運ばれます。設備に投入されると自動的に不活性ガス（窒素ガス）が注入されます。

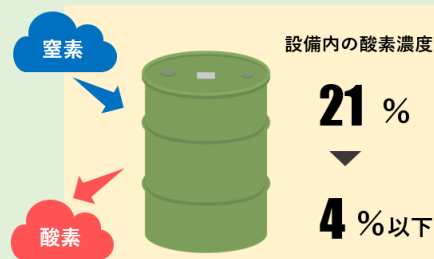
※バラ物も別投入口から処理できます。  
※中身を取り出すことなく、設備投入可能です。



## ドラム破碎設備の特徴



窒素発生装置で製造された窒素を設備に注入し、酸素に置換することで酸素濃度を4%以下まで下げます。これにより、発火・爆発の危険性がなくなり、安全に処理することができます。



STEP

3

## 破碎機で処理

2軸回転破碎形式で、刃の回転速度が自動調整できる構造になっています。非破碎物除去用扉を設けているので、破碎不可能な物は適宜外部へ排出することも可能です。

※処理能力：480本/日



STEP

4

## ミキサーかくはんで攪拌

破碎された廃棄物は、性状を調整するためミキサーで攪拌されます。攪拌後は、ピストンポンプにて焼却炉へ送られ、焼却処理されます。

